

第3学年 算数科学習指導案

日 時 平成25年10月31日(木)5校時
場 所 3年教室
児 童 男子0名 女子3名 計3名
指導者 新田 文子

1 単元名 小数「はしたの大きさの表し方を考えよう」(東京書籍 3年 下)

2 単元について

(1) 教材観

本教材は、学習指導要領算数科第3学年「A数と計算」の(5)「小数の意味や表し方について理解できるようにする」に基づくものである。

本単元では、端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを扱い、小数を用いると1に満たない端数部分の量を数値化できることを理解させ、1/10の位までの小数の加減計算する力を身につけることをねらいとしている。

(2) 児童観

はしたの量の表し方については、第2学年で例えば物差しが目盛りで1cmが10等分されていることや長さや体積の測定に関連して「7cmと3mm」や「2Lと6dL」等の複名数の表し方を学習してきた。また、10dL=1Lのようなある単位の大きさが10集まると次の単位となって表せるしくみも学習してきている。レディネステストの結果を見ると、既習の「28は、10を□こと1を□こあわせた数です。」の正答率は94%で、未習の「1mを10こにわけたうちの5こぶんの長さは何mですか。」の正答率は30%だった。

児童は、算数の学習に意欲的に取り組んでいる。また算数に限らず、多くの学習活動において、学び合いをしている。自力解決できない場合は、「学び合っているですか。」という発言もある。しかし、3人での学び合いは、多様な考えや発言が出ない場合もあり、話し合いに深まりが見られない事が課題である。

(3) 指導観

小数を用いると、1に満たない端数部分を数値化できることを理解させたい。また、小数を0.1のいくつ分ととらえさせることで整数と同じ見方ができ、数直線上に表して大小や順序についての関係を説明できるようにさせたい。そして、1/10の位までの小数の加減計算は、0.1を単位としてその何こ分で考えれば、整数と同じ方法でできることを指導していきたい。

3 単元の目標

小数の意味や表し方について理解し、小数の加減計算ができるようにする。

【関心・意欲・態度】 小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表せるよさに気づき、小数を生活や学習に用いようとする。

【数学的な考え方】 小数は整数の十進位取り記数法を拡張していることをとらえ、小数の仕組みや構成、加減計算の仕方を考え、表現することができる。

【技能】 端数部分の大きさを小数を使って表したり、 $1/10$ の位までの小数の加減計算をしたりすることができる。

【知識・理解】 小数が用いられる場合や小数の仕組みについて知り、小数の意味や、 $1/10$ の位までの小数の加減計算の意味や計算の仕方について理解する。

4 単元の指導計画（12時間）

小単元	主な学習内容
1 はしたの大きさの表し方	・ 単位量に満たないはしたの大きさを小数で表すこと
	・ 「小数」「小数点」「整数」の意味
	・ 長さの場合も小数を用いてはしたを表すこと 長さや体積について、小数を使って単名数で表すこと
2 小数のしくみ	・ 小数を数直線上に表すこと 「小数第一位」の意味
	・ 小数の大小関係
3 小数のたし算とひき算	・ 簡単な場合の小数の加法計算（小数第一位まで）
	・ 簡単な場合の小数の減法計算（小数第一位まで）【本時】
	・ 小数の加法の筆算（小数第一位まで）
	・ 小数の減法の筆算（小数第一位まで）
4 小数のいろいろな表し方	・ 小数について、相対的な大きさや構成を基に、いろいろな表し方ができること
まとめ	・ 学習内容の習熟
	・ 学習内容の理解

5 本時の指導

(1) 目標 小数第一位どうしの小数の減法の計算の仕方を理解し、それらの計算ができる。

(2) 評価規準

評価の観点	概ね満足できる	支援の手立て
数学的な考え方	小数を0.1の何こ分とみることで、既習の整数の計算に帰着して考え、説明したり、まとめたりすることができる。	前時の加法計算を想起させる。 1 L ますの図で考えさせる。

(3) 本時

段階	学習内容・学習活動	指導・支援 (■評価)	形態・準備等
つかむ 7分	<p>1 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ジュースが0.8Lあります。そのうち、0.3Lのみました。 ジュースは何Lのこっていますか。</p> </div> <p>2 課題設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小数のひき算のしかたを考えよう。</p> </div>		<p>全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1Lます図
確かめる 35分	<p>3 グループの学び</p> <p>0.8は0.1が8こ分で、0.3は0.1が3こ分なので、$8-3=5$。 0.1が5こ分なので、0.5L。 (図を使って・文章で)</p> <p>4 全体の学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人の考えを聞き合い、学び合う。 <p>5 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小数のひき算も、たし算と同じように、それぞれ0.1の何こ分かを考えてひけばよい。</p> </div> <p>6 ジャンプの問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① $1-0.4=0.6$を説明しましょう。(適用)</p> <p>② $1.4-0.6$の計算のしかたを考えましょう。(適用)</p> <p>③ 1.6L入る水とうに、水が1L入っています。水は、あと何L入りますか。(ジャンプ)</p> </div>	<p>○共通点としておさえたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数を0.1の何こ分と見て考えている。 ・$8-3$の形(整数のひき算)にして考えている。 <p>■小数を0.1の何こ分とみることで、既習の整数の計算に帰着して考え、説明したり、まとめたりすることができたか。 (ノート・発表)</p> <p>・本時の学習を使って解いているかを確認する。</p>	<p>グループ</p> <p>全体</p> <p>グループ</p>
振り返る 3分	<p>7 振り返り</p> <p>今日の学習で分かったことや学んだことを発表する。</p>		